



連携事例7

R5.8月時点(現在は実施していません)

# 小学校体育の授業サポート事業

## ～体育の嫌いな子をゼロに～



学校サポート：跳び箱 跳べるかな？

### ■協働パートナーの種別

NPO	企業	行政	教育	地縁
-----	----	----	----	----

### ■事業運営団体

NPO 法人スマイルクラブ

### ■協働パートナー

☆ 柏市教育委員会

☆ 各実施校

### ■事業費

☆ 360万円

### ■資金調達手段

委託

### 事業概要

柏市内の小学校の特別支援学級を中心として、体育授業にスポーツ指導の経験を持つスタッフを派遣し、複数指導者による授業の質と運動指導のスキルの向上を図り、個々の特性や能力に応じた指導を行っています。

### 協働までの経緯

柏市では、42校中特別支援学級がないのは2校のみで、通級（軽度の障害のある児童・生徒が普通学級に在籍しながら、障害の状態に応じた指導を受けるシステム）による体育授業では、個人の能力差が表れやすい水泳の授業などもあり、運動が苦手な子、障害がある子が授業についていけない可能性も否定できない状況になっており、現場では、子どもの多様性に、担任一人制の授業の限界を感じていました。

かねてから障害のある子や運動が苦手な子を対象とした運動教室やプール教室を行っていた「NPO法人スマイルクラブ」には、教員歴を持つスタッフもおり、子どもたちや保護者の話を聞く中で、その状況を憂慮していたことから、自団体の専門性を活かした「小学校体育の授業サポート事業」を、平成17年度に柏市協働事業提案に提案し、18年度事業として採択されました。

当初の提案では、障害のある児童・生徒に限定せず、運動が苦手な子全般を対象としていましたが、市・学校と協議する中で、障害のある児童を中心に指導補助をすることで事業を実施しています。

初年度は年間8校の実施でしたが、2年度目からは10校に拡大し、現在に至っています。

### 主な事業内容(年間スケジュール等)

- ① 柏市教育委員会が次年度の実施希望校を募集（4月頃）
- ② 実施校を決定（5月頃）
- ③ 教育委員会と団体スタッフが、一緒に実施予定校を訪問して打合せ
- ④ 必要に応じて担任と連絡・調整を重ねながら授業を実施  
（基本は1回3時間で1校につき週2回／一校につき年間200時間）

### 主な協働パートナーとの役割分担

- 【NPO】授業計画策定、授業サポートの実施
- 【行政】実施希望校の募集及び決定、経費負担
- 【各学校】授業計画策定、出勤簿調製及び教育委員会への報告
- ※児童の個々の性格や状態などを共有しあい、授業のメニューや進め方を協議しながら授業を展開しています。

## 協働事業によって生まれた成果

- 担任以外にもう一人、専門家スタッフがいることで授業の質が向上し、効果的な児童の体力向上が実現されています。
- 担任教諭の負担軽減やスキルアップにつながっています。
- 自信がなく積極的に参加できなかった子が、取り残されることなく授業を楽しめるようになりました。
- 運動が苦手な子の教育や学校の様子が理解できたことで、団体の自主事業を充実させることができました。

## 今後力を入れていきたいこと

学校によっては、派遣サポーターを支援教員と誤認しているケースが見受けられ、まだ市内全校・全教員に事業が充分理解されているとは言い難い状況です。今後、更なる事業への理解促進が必要です。



## コラボのコツ!!

★協働コーディネーターが第三者の立場で提案された事業の調整協議の進行役を務める

★先生の立場に寄り添い、授業以外で余計なことを言わないことが重要

柏市の協働事業提案では、協働コーディネーターが事業の調整役を務めます。そのため、互いの立場や思いから平行線になりがちな協議に、市民の立場から提案し、双方の考えを踏まえた歩み寄りの道をさぐり、事業の実現に向けた建設的な協議とすることができました。

また、学校現場では、子どもの多様化も含め、様々な課題への対応で多忙なのに加え、最近は保護者が些細なことで学校への批判や、苦情を言う傾向にあるため、学校も過敏になっています。互いの立場や考え方を尊重しあわなければ協働は難しくなります。



## 協働事例プロフィール

【活動開始年】平成9年（法人化：平成13年1月4日） 【活動のPR手法】<http://smile-club-npo.jp/>

【この事業で活用した補助金】①日本財団②子どもゆめ基金③損保ジャパン④太陽生命  
⑤ドコモ市民団体活動助成⑥木下財団⑦グーグル⑧エネルギー⑨toto⑩エドワーズライフサイエンス

【表彰歴・マスコミ掲載歴等】①読売新聞：読売福祉文化賞（H20）②第一生命：保健文化賞（H24）

③博報堂：博報賞、文部科学大臣奨励賞（H24）④社会貢献支援財団：社会貢献者表彰（H25）

⑤朝日新聞：全国版で活動を紹介（H26.12）⑥千葉県：千葉県体育・スポーツ功労者等顕彰（H29.3）

【問い合わせ先】担当者：大浜 三平 電話番号：04-7169-4183

メールアドレス：[smile-c@jcom.home.ne.jp](mailto:smile-c@jcom.home.ne.jp) ※上記体育授業サポート事業は、現在実施しておりません。